

## マネージメント情報

### ※T○P セミナー最終回

Pfizer と MP アグロ（旧丸善薬品）の多大な協力の下、「酪農場における雇用関係セミナー（T○P セミナー）」が一昨年の平成 21 年 11 月 14 日の第一回から数えて今回で 4 回目、途中宮崎県の口蹄疫の発生があり、当初の予定より数ヶ月余計にかかりましたが最終回が無事に終了することができました。

どんなに素晴らしい酪農技術や施設、粗飼料があっても、雇用をいれなければ農場自体が動かなくなっている現状を考えると、この雇用関係が良くなければ良い経営は成り立ちません。

講師の山南先生がこのセミナーの中でわれわれに伝えたかった事を整理してみました。

農場経営の中で最も重要な事、一番の基本は経営者が「夢」を持つという事です。

→ 農場で夢のない経営者を毎日見ている従業員は夢を描ける事ができますか？  
そしてその「夢」を実現するためにはどうしたら良いか？

#### ①夢に期限をつける

農場（会社）の明確なビジョンを決定し、その姿を伝え、実現のためにみなさんと従業員とがお互いの夢を繋げ（共感）て、その夢に漠然を向かうだけではなくしっかりと期限をつけて実現するという事。

例えば、レッドソックスの松坂大輔がメジャー入りした時のコメントで、夢が実現しましたね？と聞かれて「夢が実現したのではなくメジャー入りは目標だった」と答えたそうです。

「夢に期限をつけた瞬間に夢が目標に変わり現実のものとなる」という事です。  
逆に夢やビジョンが無いのに目標を決める事は最悪で意味は従業員には伝わらない。

#### ②経営者と従業員とが夢を語りあう

みなさんは自分の農場で働いている従業員全員の夢を知っていますか？

みなさんは従業員とお互いの夢について語り合っていますか？（会話の絶対量があるか？）

従業員は自分自身の事を経営者にわかってもらっていると思っていますか？

従業員はやりがいをもって働いていると思いますか？

そのやりがいが従業員の夢と繋がっていますか？

→ 夢を持たない経営者には夢をもたない従業員があつまる

従業員ひとりひとりとの関係をしっかり作り上げる

#### ③従業員の家族の幸せを考えていますか？

従業員の後ろにはその家族がいる → 経営者の喜びは従業員の家族と切り離されない  
経営者はその後ろにいる家族の幸せを補償する責任がある。

同様に地域との関係も同じように切り離して考える事はできない → 報いるという事  
家族経営と会社経営の場合では失敗の意味が責任の重さという意味で全く違う。

④従業員の将来について考えていますか？

「縁」…従業員は何かの縁があって自分の農場ではたらくという事。  
その縁あって働いている従業員が仮に自分の農場を辞める事になっても、次の仕事で役に立つなにかを伝えなければならない。  
従業員にはばたく翼を与える事が経営者の責任

夢を持ち、実現する日付をつけ、そのゴールに向かう、  
関わる人全てがその実現のために語り合い変化していく

①ものの見方が変われば SEE



②行動が変わり GO



③結果が変わる GET



①に戻る、②③→①この繰り返し

本当に雇用というテーマは難しいですね。

農場でという表現をしています、どんな会社でもましてや当社でも同じように雇用問題ということがあるわけです。夢を持つということ、その実現のために…etc 口で言う事は簡単ですが実行するという事は至難の業です。

でも、この雇用というテーマから避けていては、いつか必ず行き詰まってしまう。避けてはとれない問題なのですね。

このセミナーについて最初に書いた事は、お尻がムズムズするような表現や言葉がたくさんあり、人と話をする時には口にするのも何故か恥ずかしくなるという事でしたが、最終回を終え突き詰めていくとそういう話をする事も避けてはとれないという結論に達しました。

どうかみなさん、最初は照れくさいとは思いますが自分の農場のため、従業員とその家族のため、地域や社会のために「夢」を持ち、変わってみませんか？

そうする事によって必ずなにかが見えてくると思います。

.....

・ 年が明け1月はどこかへ行ってしまい、逃げていく2月の言葉どおり2月ももうすぐおしまいです。最近道東は日本でも意外と住みやすいところではないかと思うようになりました。夏はそんなに暑くなく、冬も適当に寒いですが大雪が降るわけでもなく、除雪の心配もそんなに無い。これも考えようなのかもしれませんが、プラス思考でいくとなにか少く楽しい気分になれるそうです。

聞くところによると道東でも米をつくらうかと考えている人がいるとかいないとか。